

場所	分類	被ばく低減対策好事例集								
原子炉建屋内 RB	R 1	1 時間								
タービン建屋内 TB		2 距離								
R ZONE R		3 遮へい								
Y ZONE Y		4 線源の除去								
G ZONE G		5 遠隔、ロボット化								
その他 () Z		6 汚染拡大防止	番 号	28-11						
		7 その他								
内 容	構外（管理区域外）でプレハブ化作業を行い、現地作業を簡略化									
作業部位	3号機タービン建屋逆洗弁ピット廻り									
概 略	逆洗弁ピットに屋根を取付ける作業において、構外（管理区域外）でプレハブ化作業（組み立て）を行い、現場作業を簡略化し時間短縮を行った。									
評 値 (定性・定量)	効 果	低減量								
		被ばく線量(mSv)		1,069						
		人工数(人日)		220						
事例詳細										
対策前	逆洗弁ピット廻りは、ガレキの影響から環境線量率が～2.9mSv/hであり、屋根材組み立てに多量の被ばく線量を要する可能性があった。									
対策内容	構外（管理区域外）で屋根材のプレハブ（組み立て）を行い、組み立てた屋根材を移動・設置することにより、逆洗弁ピット廻りでの作業を簡略化し、時間短縮を図った。									
<p style="text-align: right;">①構外(管理区域外)の作業場で、 屋根・柱を組み立て、仮組を実施 ②組み立てた屋根材を現場へ移動 ・設置</p> 										
  <p>構外での作業(イメージ写真)</p>										